

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公開番号】特開2008-38152(P2008-38152A)

【公開日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-200381(P2007-200381)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 M 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月13日(2011.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

相変化インクプリンタの供給チャネルに嵌合するように構成され、外面を有するインクスティック本体と、

画像形成装置制御システムに可変制御情報を伝達するためのしるしの符号化パターンを含む、前記インクスティック本体の外面に付加される符号化マークと、を備える、相変化インクプリンタでの使用のためのインクスティックであって、

前記インクスティック本体と前記符号化マークは同じ相変化インク組成物から形成される、前記インクスティック。

【請求項2】

前記符号化マークは、前記インクスティックに関係のある可変制御情報を符号化する請求項1に記載のインクスティック。

【請求項3】

前記相変化インク組成物は、

相変化インク組成と、

相変化インク着色材と、

を備えている請求項1に記載のインクスティック。

【請求項4】

前記符号化マークは、前記インクスティック本体の外面に差し込まれた位置に位置する請求項1に記載のインクスティック。

【請求項5】

前記インクスティック本体は、方向についての特徴を有する請求項1に記載のインクスティック。

【請求項 6】

前記符号化マークは、前記インクスティック本体の外面上に隆起した複数の部分を有する請求項 1 に記載のインクスティック。

【請求項 7】

前記符号化マークは、前記インクスティック本体の外面上で質感が異なるようにされた複数の部分を有する請求項 1 に記載のインクスティック。

【請求項 8】

相変化インクプリンタでの使用のためのインクスティックであって、
相変化インク組成物で形成され、外面を有するインクスティック本体と、
画像形成装置制御システムに対して前記インクスティックを識別するように構成された
しの符号化パターンを含む、前記インクスティック本体を形成するために使用される
前記相変化インク形成物で形成され、前記インクスティック本体の前記外面に適用された
符号化マークと、

を備える、

前記インクスティック。

【請求項 9】

前記符号化マークは、バーコードを備えている請求項 8 に記載のインクスティック。

【請求項 10】

前記符号化マークは、在庫保存類番号を符号化する請求項 8 に記載のインクスティック
。